

# MRI造影剤使用に関する説明及び同意書

ID番号 \_\_\_\_\_ 今回実施するMRI検査では「ガドリニウム造影剤」という薬の注射をする場合があります。腎機能が正常であれば、注射後6時間で約80%以上が腎臓から尿として排泄され、やがてすべてが体外に排泄されます。

氏名 \_\_\_\_\_ 静脈内に注入された造影剤は血管を介して全身の臓器に分布し、血管腔の状態、臓器や病変部の血流状態、造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざまで、専門の放射線科医が判断します。なお、造影剤は体重により使用する量が異なります。造影剤を使うと、まれに副作用が起こることもあります。アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性がそれ以外の方と比べ3.8倍、喘息の方は1.5倍多いといわれています。副作用の種類は次のようなものです。

生年月日 年 月 日 診断上、重要な情報となることがあります。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざまで、専門の放射線科医が判断します。なお、造影剤は体重により使用する量が異なります。造影剤を使うと、まれに副作用が起こることもあります。アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性がそれ以外の方と比べ3.8倍、喘息の方は1.5倍多いといわれています。副作用の種類は次のようなものです。

年齢 歳 \_\_\_\_\_

性別 男 女 \_\_\_\_\_

軽い副作用：頭痛、嘔吐、顔面紅潮、かゆみ、くしゃみ、発疹などです。これらは一過性のもので治療を要しないか、1~2回の投薬や注射で回復するものです。この確率は100人につき1人程度です。

重い副作用：呼吸困難、肺水腫、ショック、視覚障害、痙攣などです。この確率は4万人に1人以下です。100万人に1人程度で死亡例が報告されています。

血管外漏出：検査によっては勢いよく造影剤を注入する場合があり、血管外に造影剤が漏れることができます。この場合は注射した部位が腫れて、痛みを伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収され、心配ありません。特別な治療が必要となることもありますが、非常にまれです。

※緊急時の対応：当院では検査中、看護師が患者様の様子を観察し、必要があれば医師も立ち会い、万一の副作用に対して素早く対応できるようにした上で、検査を実施しています。

もし、検査中に変だと感じたら、ためらわずにおっしゃってください。その他わからないことや、気になることがあれば検査担当者にお申し出下さい。

## ●以下の記入をお願いします。(MRI造影剤使用に関するチェックリスト)

- 今まで、造影剤(注射、点滴)を用いた検査を受けたことがありますか？  
「なし」「あり」(CT検査、腎臓検査、胆嚢検査、血管造影、MRI検査、その他)
- 今までに上記の薬も含めて、薬や食べ物でアレルギー症状がでたことがありますか？  
「なし」「あり」( )
- 今までにあなた、または血縁者が喘息(ぜんそく)といわれたことがありますか？  
「なし」「あり」(時期) )
- 今までに重い腎臓の病気があるといわれたことがありますか？  
「なし」「あり」( )
- 現在、βブロッカーを使用していますか？  
「なし」「あり」(薬のなまえ) )
- 現在、妊娠中、またはその可能性がありますか？  
「なし」「あり」「わからない」

説明日 年 月 日 説明医師：

上記の説明により造影剤を使用した検査を受けることに  
**同意します** • **同意しません**

[どちらか一方を○で囲んで下さい。]  
※いずれの場合もいつでも撤回することができます。

ご本人または代理人 ( 続 柄 ) ご署名